

# 第41回 新潟社会人バドミントンリーグ戦 諸注意(審判)

第41回大会の競技審判上の注意事項が決まりましたので連絡いたします。

- ① 色付きの着衣については、審査合格品以外認めない。発見したら、その場で着替えていただきます。(パンツも同様です)例えば、スポーツメーカー品でも日バ審査合格品ではない物がある。(チャンピオン・エレッセ・ナイキ・プーマなど)ただし、単色はOKとする。(メーカーマーク等のワンポイントはOKとする)背面は、チーム名、個人名、登録番号は許可する。又、前面は全て許可しません。文字は読み取れる文字とする。
- ② 競技中のヘアバンドの着用は基本的に汗止め用ヘアバンド(縛らなくて良いもの)とし、バンダナ、タオル、キャップ等はいかようでも禁止です。また、試合中飛んでいくようなものを身につけるのも禁止です。なお、怪我等で必要な場合は競技役員に相談してください。
- ③ 汗を手でぬぐいコート外へ振り捨てる行為は、不品行な振る舞いとして違反となります。その場合主審は当該プレーヤーに注意をし、繰り返す場合は警告を与え、イエローカード提示する。違反を繰り返す場合はフォルトとしレッドカードを提示する。
- ④ アンダーウェアについては、日バ審査合格品が望ましい。半袖、短パン(膝上)は、審査合格品でなくてもOKとする。ただし、県大会以上の大会は認められないので、注意すること。
- ⑤ 審判(線審)は自チームの応援について、過度にならないよう慎む。また、主審をすることが出来る人は、公認審判資格取得者もしくは講習修了者のみとする。
- ⑥ インプレー中に大きな声の応援などは、不品行な行為としてペナルティの対象になる。(主審の判断(ギャラリーは競技役員(レフェリー))
- ⑦ 主審を行う予定の人はオーダー用紙の主審予定者欄に記入する。(未記入の有資格者の方は、資格確認後主審が可能です。)
- ⑧ ラインジャッジについて  
ラインジャッジが出来るのはチーム登録しているメンバーですが人数が足りなくて、やむを得ず応援をお願いする場合は、下記のいずれかで対応してください。
  - A 対戦チームにラインジャッジをお願いする。
  - B 両チーム相談し競技役員の許可を得て、線審の数を減らす。(対角2か所で行う)
  - C チーム登録以外の人をお願いする。ただし相手チームの代表者に必ず了承を得ること。  
試合が終わってすぐにラインジャッジが出来ない場合も同じです。
  - D 運営本部が認めた場合(開いて試合の場合等)。  
コーチはラインジャッジを兼ねても良い。(コーチ席、応援ベンチを設置しない為)
- ⑨ 2021年競技規則第9条、サービス 第1項(6) サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から1.15m以下でなければならない。この高さ確認用にポストの1.15mにテープが巻いてありますので審判の方々はサービスの際に確認をお願い致します。

## フロア内でのモバイル機器及び携帯電話等の使用禁止

2021年度公認審判員規定、第3条、第15項(1)により、マッチ(試合)中のコートまたはコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った場合はイエローカード又はレッドカードが提示されます。

また、フロアでのビデオ撮影(スマホ、携帯電話等)、写真撮影は許可された者以外禁止です。

**※プレーヤーとは大会に参加(登録)している選手全員です。**

携帯電話の使用はフロアの外で行う事。また、電話の音が聞こえた場合、運営・競技役員が直接注意することもあります。

以上